



校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年4月24日
第4号

学習参観等への参加・出席ありがとうございました

去る19日(金)の午後、今年度第1回目の学習参観にたくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。どの学級の子供たちも、お家の人が見に来られるのでいつも以上に張り切り、魔法がかかったようにしっかりしていたようです。また、新しい教室で新しい担任の先生と取り組む学習の様子は、保護者の方にとって昨年度までとは少し違った雰囲気を感じられたかもしれません。

その後、どの教室でも学級懇談会が和やかな雰囲気で行われていて安心しました。今年度の

よいスタートが切れたことを改めて感じる事ができました。

校長室へどうぞ ~今日も扉をできるだけ開けています~

さて、この4月、本校に着任した初日に私は校長室のちょっとした模様替えを思い立ち、グラウンド側を向くように置かれていた執務用の机の向きを90度回転させました。そうすることで、机に向かうと右手はグラウンド側、左手は廊下側となりました。暖房も使わなくなったこの頃は、在室中はできるだけ廊下側の扉を開けるようにして、仕事の傍ら、時折廊下を歩く子供たちの様子を眺めたり、目が合うと手を振ったりしてみました。

最初の頃は「あれ?」「開いてる!」という不思議そうな顔で廊下からのぞいていた子供たちも、そのうち「校長室に入ってもいいんですか?」と聞いてくるようになりました。「扉が開いている時はいいですよ。でも『失礼します』とか『今、入っていいですか』とは言ってくださいね」と話すと、早速「失礼します」「おじゃまします」と断りを入れてから、そろそろ校長室に入ってくるようになりました。

たいていは、室内の応接セットのソファに腰掛け、座り心地を楽しんだり、壁に掛かっている歴代の校長先生の写真を眺めたりなどしています。「あ、大坂校長先生だ」「この校長先生も知ってる気がする」とか、中には「私のお父さんが小学生の時はどの校長先生だったのかな」とぐるりと見渡す子もいます。あとは気の済むまで雑談をし、時間になると「失礼しました」「ありがとうございました」と挨拶して退室します。そういうときの挨拶は皆上手にできています。

このように校長室を開放することに関しては賛否両論あることでしょう。「校長室は特別な問題や用件がある場合にだけ入る部屋であるべきだ」というご意見もあるだろうと承知しています。ただ、私は日頃からできるだけ校長室の扉を開け、子供にとっても大人にとっても入りやすい場所にしておきたいのです。本当に困った時や助けを求めたい時に駆け込んでくることができる選択肢や居場所の一つになればと思っています。

今、このおたよりをPCで作成している最中も、廊下を通る子供たちが「校長先生さようなら!」と挨拶をしてくれました。

「さようなら!」と私も声をかけ、手を振り返りました。また明日、元気に学校に来てくださいね!

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()



進んで自分の考えを表現する頼もしい姿 ～交通安全教室から～

23日（火）に3～6年生対象の交通安全教室を行い、主に自転車の安全な乗り方等について学びました（詳しくはHPをご覧ください）。この時、積極的に手を挙げて自分の考えを言う子がたくさんいました。学習の内容に引き込まれ、発表したくてたまらなくなったようです。こういう気持ち、いいですね～。

また、最後の感想タイムでは、一瞬静かになった中でも6年生の男子2名が勇気を出して堂々と発表しました。その姿がとても頼もしく感じられました。

進んで自分の考えを表現できる力をどんどん伸ばしていきたいものだと思います。



シリーズ「教室におじゃまします」 4/19(金)4年図画工作の巻

午後の学習参観を控え、廊下に貼る作品の題名を考える時間でした。担当の澤田先生（教務主任）が「絵は色と形と構成でメッセージを伝える、その時に助けてくれるのが題名です」と、題名を工夫することの大切さを語ります。子供たちはその話にぐっと引き込まれました。

先生は、「たとえば」と一人の作品を手に取り、ゆっくり回転させました。「いいと思った時に手を挙げてね。」子供たちはその絵にぐっと注目し思い思いのタイミングで手を挙げ、それにふさわしい題名を考えます。そうしてしばし盛り上がった後、それぞれ自分の作品の題名を考える時間になりました。

前の時間までに描き上げた作品は筆以外のもの（さまざまな技法）を使って描いた抽象的な作品なので、改めて題名を考えると、自分の作品でも思いがけない発見があるようでした。じっくり考えた末に、「宇宙を泳ぐおたまじゃくし」「夜を楽しんでいるかわった色の龍」「魔王復活」「にじの中に川がある」「ざらざらきもちいい」等々、思い入れたっぷりの題名を考え出し、所定の用紙に清書しました。

2枚の中から1枚を選ばなくてはならない子もいて、友達や担任の渡邊先生にもアドバイスをもらいながら、時間いっぱい考えていました。

題名も含めて力作がずらりと出そろいました。



<おまけのひとりごと> 校長室の机の向きを90度変えたことで、机に向かうと隣の職員室の様子もよく聞こえます（校長室と職員室との間の扉も、もちろん日頃はオープンです）。特に放課後になると、教室から戻ってきた先生たちがいろいろと情報交換をしている声が聞こえ、なんだか楽しくなります。一人一人の経験値や得意・不得意はさまざまですが、腹を割ってあれこれと相談したり提案したり、助け合ったり、時には雑談をしたり…。手前味噌かもしれませんが、本当に「いいチームだなあ」と感じています。こうした素晴らしいチームを旗を振って応援しながら全力で支えることが校長の一番の役目かもしれません。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名（ ）